

2020～2023

鈴峰地区地域計画



鈴峰地区地域づくり協議会



鈴峰の

「未来と子どもたち」につなごう

鈴峰地区地域計画の策定にあたって

この度、鈴峰地区の地域づくりを進めるための地域計画を策定しました。ご一読いただき、当協議会の今後の活動について、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

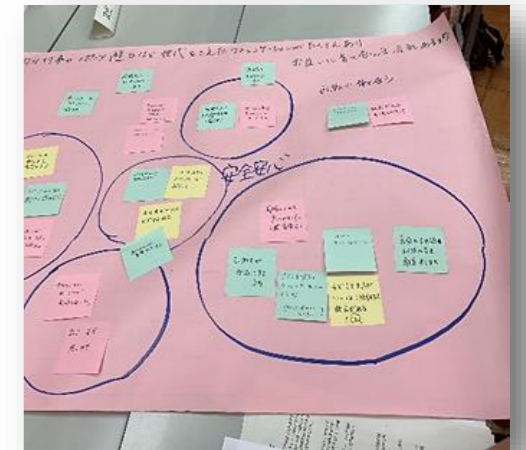
ところで、当協議会は1年間の準備期間を経て、平成30年に設立しました。社会構造の変化(少子高齢化、人口減少、経済の停滞、行政の財政難など)に伴い、行政だけではできない様々な地域課題の解決に向けて、行政と連携し自立的に活動する地域組織として設立されたものです。

この地域計画は、当協議会が令和2年度から令和5年度までの4年間に取り組む課題を取りまとめたものです。「私たちの地域は私たちの手で」を合言葉に、地域住民が主役となる地域づくりを目指して、平成30年2月のアンケート結果を踏まえながら、自治会や各種団体の代表者、学校関係者などたくさんの方にご参加いただいてワークショップを開催し、作成しました。

今後はこの地域計画に基づき鈴峰地区の地域づくりを進めてまいります。地域計画を実りあるものとするため、地域の皆様のご理解と積極的なご参加をお願いいたします。

令和2年3月

鈴峰地区地域づくり協議会
会長 伊藤 徳人



基本目標

連帯感のある安全・安心で
豊かな住みよいまちを
目指します

部会の目標

福祉部

子どもから高齢者まで、
年を重ねても、
安全・安心に暮らせるま
ちを目指します

文化・スポーツ青少年育成部

伝統的な行事やスポーツ遊びなど
世代を超えたコミュニケーションが
たくさんあり、お互いに育て合える
まちを目指します

交通防犯防災安全部

交通防犯防災の施設が整い、
地域の危機管理や安全意識の
高い、人とのつながりのあるま
ちを目指します

農林・商工観光部

チャレンジする農業と自然環境
を活かしたまちづくりを行います

鈴峰地区の姿

人口 3,477人

世帯数 1,278世帯

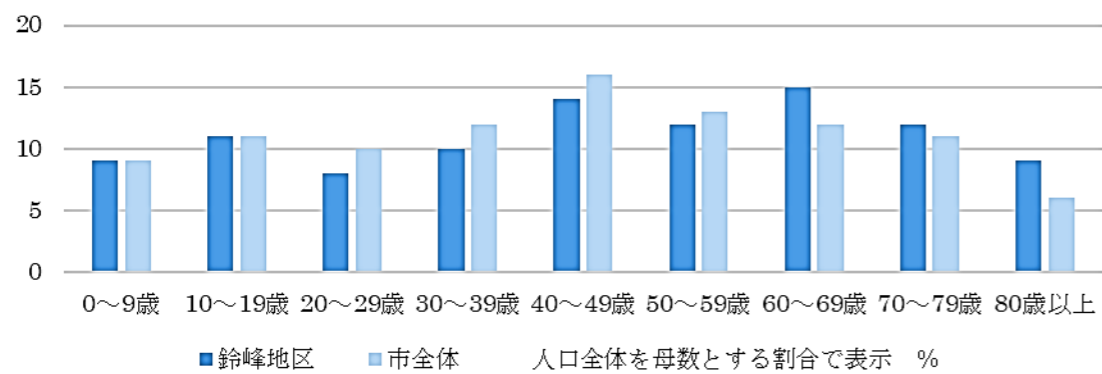


鈴峰地区は、鈴鹿市の西部地区に位置し、小岐須町・小社町・長澤町・伊船町・伊船町東の5つの自治会からできています。



人口構成

平成31年3月31日現在



鈴鹿市全体と鈴峰地区の人口構成を表したものが、上記の図です。鈴鹿市全体、鈴峰地区のいずれも少子高齢化が進んでおり、鈴鹿市の高齢化率は25%、鈴峰地区は31%となっています。

今後も高齢化率は高くなり、人口減少も急激に進むと予想されます。少子高齢人口減少に伴ってコミュニティ機能が低下することで、生産活動・共同活動の継続が困難になるなど、危機的な課題が発生すると思われる。

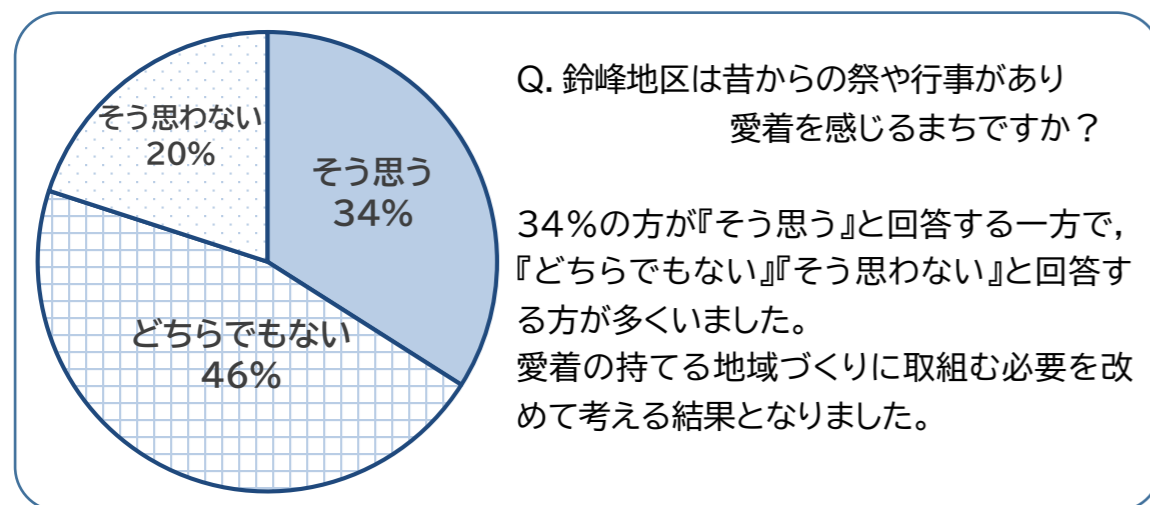
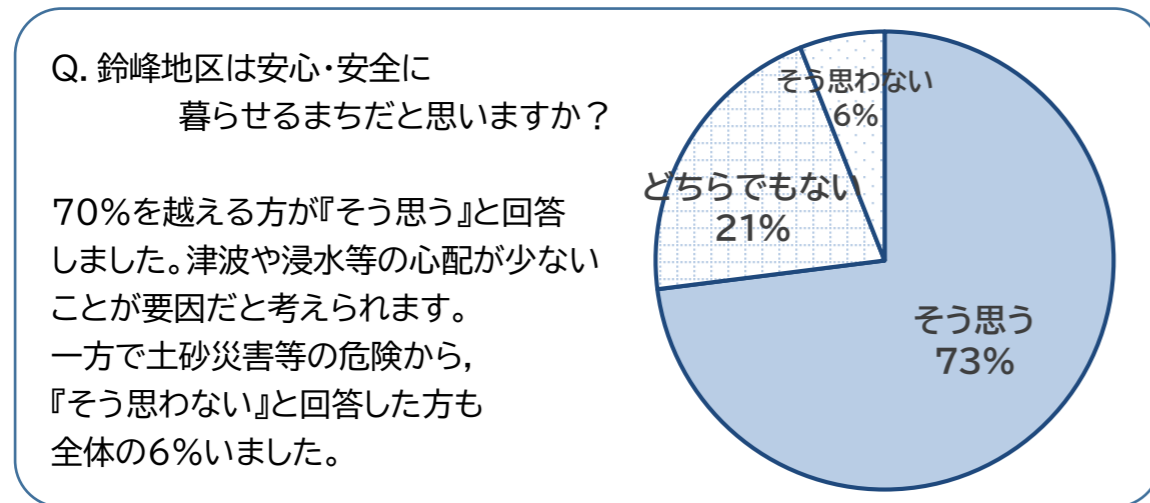
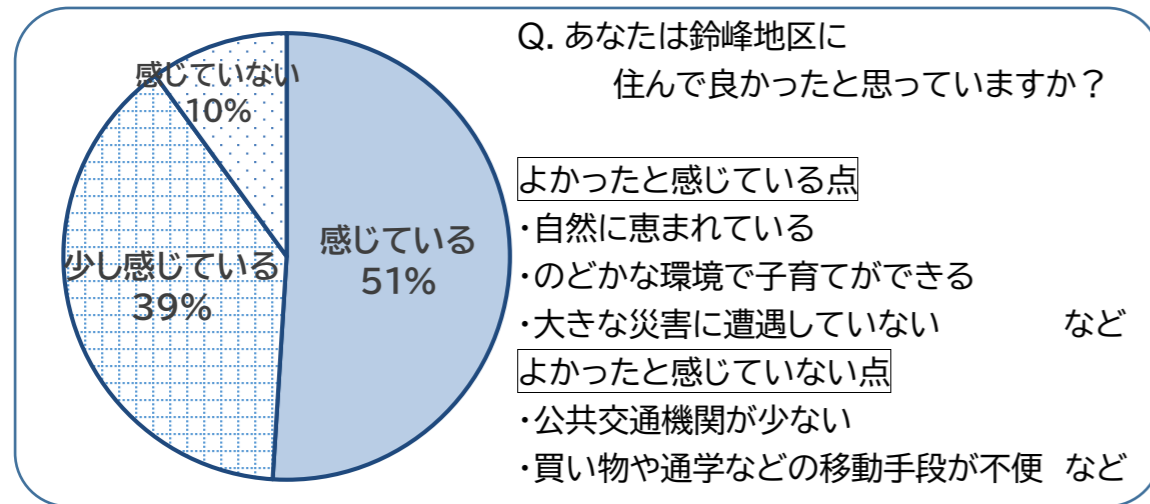
*高齢化率とは、65歳以上の人口が総人口に占める割合をいう。

鈴峰地区の資源

- 石大神(しゃくだいじん)**
古代から信仰の対象となっている巨大な鐘状の地形
場所:小社町字脇の山
- イヌツゲ・アセビ群落**
樹齢:200~300年
場所:入道ヶ岳
- 銅鐘**
県下最古の梵鐘
場所:桃林寺(小岐須町)
- 屏風岩**
白色石灰岩が河食作用により、高さ30mの崖面となった。場所:小岐須溪谷
- 山の家**
場所:小岐須町
- 御幣川**
- ミエゾウの足跡**
場所:御幣川(伊船町)
- 鈴鹿IC**
- 龍が池**
人柱になったお竜さんの石碑も建てられている
場所:伊船町
- 深伊沢小学校**
場所:伊船町
- 鈴峰中学校**
場所:長澤町

住民の意識

鈴峰地区地域づくり協議会では、平成30年に住民対象のアンケート調査を行いました。その結果の主なものは、次のとおりです。



鈴峰地区の宝物



鈴峰地区の課題



部会ごとの活動方針

福祉部は、

地域ボランティアの輪を広げる取組を行います

地域全体で、子どもや高齢者の見守りを行うため、『ながらパトロール』の輪を広げます。

《犬の散歩をしながら》《農作業しながら》

登下校中の児童・生徒やお散歩中の高齢者に声をかけ、地域全体で見守り活動を行います。

将来的には、ボランティアの力で『(仮称)地域お助け隊』の結成を目指します。



交通防犯防災安全部は、

鈴峰地区防災計画の策定を目指します

危険箇所をマップにまとめながら、防災チェックシート、危険箇所チェックシートを作成し、地域の状況を把握します。その上で、高齢者を主体とした防災訓練、避難所での生活を想定した避難所運営等を実施し、地域の防災意識の向上を図ります。



文化・スポーツ青少年育成部は、

地域行事への参加者アップを目指します

『夏休みの宿題応援教室』を開講し、講座内容や講師の検討などを始めます。

地域全体で子どもの夏休みをサポートします。

また、現在実施している『歩け歩け大会』や『町民運動会』の参加実態を把握しつつ、地域の特性を生かし、世代を超えて交流できる事業へ発展させていきます。

小学校、中学校や地域の関係団体とも協働しながら事業を展開していきます。

農林・商工観光部は、

地域の資源を活かしながら

地域を盛り上げる検討を始めます

耕作放棄地を減少させる取組や、農産物、山の家の活用を検討しながら鈴峰の農業・観光を元気にする取組を検討します。将来的には地域の力で(仮称)『鈴峰 人の駅』の設置を目指します。

